

LET'S EAT OUT IN ASAGAYA

Vol.2

# 阿佐谷 たぐあふま

レッツ・スウィング! ジャズ特集

創造性豊かで文化が薫る大人の街、  
中央線・阿佐ヶ谷で味わうジャズミュージック。



なみじゃない、杉並!

中央線あるあるPROJECT

ASAGAYA DEPARTMENT STORE  
阿佐谷百貨店





音楽、お酒好きが集まる阿佐ヶ谷の台所

## のみくい処 青月



盛り合わせ3種

音楽と料理をコンセプトに、スターロードのビルの3階で仲良し夫婦が営む居酒屋。ミュージシャンとして活動する夫の青木リョータさん、子どもの頃からジャズに馴染みのある妻あやさんと音楽トークに花が咲く。スパイス料理をはじめ丁寧に作られたジャンルレスの創作料理も楽しめる店。

住 阿佐谷北2-2-13F

営 18:00-24:00

休 火・水



# 阿佐ヶ谷 たむく

レッツ・スウィング

心地良いジャズを楽しみなが  
阿佐ヶ谷であなたのお気に入り



極小ライブハウスで聴くほぼ生音のジャズは迫力満点

## MANHATTAN

ヒューガルデン・ホワイト

1938年生まれで現役のピアニスト/アコーディオニストの望月さんが1985年に開店したライブハウス。料理好きの望月さんが作るピザやパスタなどの食事メニューも。目の前で繰り上げられるジャズ・ライブは圧倒的な迫力で、若いプレイヤーが多く出演する登竜門的なお店。阿佐ヶ谷のジャズの歴史に欠かせない一軒。



住 阿佐谷北2-2-73F 電 03-3336-7961 営 19:00-22:30 休 月・火



隠れ家のような趣きあるジャズ・バーでレコード鑑賞を

## どんから 鈍我楽

オールド・クロウ(ソーダ割)



1966年に21歳でジャズ喫茶を始めたジャズ一筋のマスターが営む老舗ジャズ・バー。60~70年代のモダン・ジャズを中心にアナログ盤のコレクションは約2,500枚。リクエストもでき、歴史を感じるレコードリストも必見。バーボンを中心にお酒を楽しみながら世代を超えてジャズや美術、映画などの会話が弾む店。

住 阿佐谷南3-37-11 営 20:00-翌2:00

休 日



# 阿佐ヶ谷 お酒

グ! ジャズ特集

ら、ちょっと大人な食事とお酒。  
のお店を見つけてみませんか?



大人の音楽、大人のお酒を楽しめる駅近くの別世界

## 阿佐ヶ谷スタッカート



(住) 阿佐谷北2-1-1 6F  
(営) 19:00-23:30 (休) 日・祝

ラム / クラフトジン

落ち着いた雰囲気カウンター越しの眺めもよいライブバー。ジャズを始め、ラテン音楽などのライブを開催し、演奏者のレベルの高さとライブの質に定評がある。パーティタイムはノーチャージでゆったりと会話やお酒を楽しむことができ、国産ウイスキーやルーマニアワイン、クラフトジンなど珍しい銘柄のお酒も取り揃える。



大きな扉が目印のジャズが流れる居心地よいカフェ&バー

## ミステリー オーパス

1991年開業、現在は2代目で夫婦が経営するカフェ&バー。ホテルで料理人修行を積んだマスターが腕をふるう豊富な食事やおつまみ、カクテルが自慢。ランチは焼きカレーや焼きサンドイッチ、ディナーはピザや温野菜サラダが人気で、自家製コーヒーゼリーなどもあり、時間帯を問わず気軽に利用したい。

(住) 阿佐谷南2-16-8  
(電) 03-3317-3434  
(営) 11:00-24:00  
(休) 日



焼きサンドイッチ



非日常空間のビストロでジャズに聴き入る

## CHEZ MOI

お任せ前菜盛り(バケット付き)



(住) 阿佐谷南2-21-16 (電) 080-7414-6697 (営) 木・金18:00-23:00  
土17:00-23:00  
(休) 月・火・水 日17:00-22:00



「バリの片隅に古くから佇んでいるようなビストロ」をイメージした店内で流れているのは雰囲気にとぴったりのジブシージャズ。非日常的だが心地よい空間でここが阿佐ヶ谷だということを忘れてしまう。元パティシエの店主が作る料理はワインとの相性もよく、前菜盛りを始め、ガレットも人気。1人でもゆっくりと過ごせるカウンター席と、2・3人用のテーブル席もあり。



至新高円寺



阿佐ヶ谷在住のジャズ・ミュージシャン小田陽子・智昭姉弟が語る

# 街と人が響き合う、ジャズの街・阿佐ヶ谷の魅力



が怖くて、そのまま降りて帰ってきた。3回目くらいで入って来て、ジャズ・バーって怖いところだと思っていただけ、こんな風に居心地がいいんだと思つたよ。

陽子：ジャズ・バーって確かに気を遣う感じはあるかもね。周りのお客さんもこちからしてみたらミニアツクな人が多くて。

## 大阪・チリ・そして杉並へ

陽子：生まれは大阪の豊中。親が転勤族だったのであちこち行つて。住んだのは茨城県日立市でしょ、東京でしょ、大阪でも2箇所くらい。それから南米のチリ。「お父さん外交官ですか？」って聞かれるんだけど、鉱山会社。チリで住んでいたのは赤道の近くで暖かめ、春夏秋冬の区別がほとんどないところだった。

智昭：俺も生まれはチリだよ。陽子：杉並には元々おばあちゃんが住んでいて拠点があったの。そこに今私が住んでる。

## 阿佐ヶ谷ジャズ・バー巡り

智昭：20歳くらいの頃は地元では飲まなくて、23歳くらいで飲みに行くことと思って最初に行ったのがクラウイアーだったね。当時はパールセンターのビルの上階にあって、中からママさんが話している声が聞こえてくるんだ。最初は2階くらいは入るの

こから始まっているからね。あそこがジャズ好きの街づくりをやる人たちが集まったみたいだけど、とにかく一回やってみようやというところになって、その時にラテン・ジャズ・メッセンジャーズっていう名前で出演してね。智昭：望月さんが勝手に付けちゃったんだよ！俺はもっとかっこいい名前にしよと思ったのに(笑)。

## 阿佐ヶ谷スタックカート

陽子：スタックカートのみどりさんは印刷会社の社長さんをやっている。ジャズストリートに参加したいということなので初めて行つたのかな？最初はお客様も少なく、まだまだライブというところじゃなかったんだけど。感じのいいお店だから、そのうちミュージシャンがミュージシャンを呼ぶという感じで、だんだんショーロとかのブラジル系音楽のライブが多くなってきて、スタックカートのライブは問合せが来ないの。

## 家族総出でイベント出演

陽子：ジャズストリートでは会場になつてよく細田工務店、新東京会館にはよく出たね。その頃は出演者が少なくて掛け持ちしたり2日間出たり。

## 手作りのジャズストリート

智昭：阿佐ヶ谷ジャズストリートの次

## 阿佐ヶ谷ジャズストリート

「阿佐ヶ谷のまちをジャズで明るく楽しいまちに」を合言葉に、1995年にはじまったイベント。チケットを購入してジャズを楽しむパブリック会場、ライブハウスや、レストラン、カフェなどが独自にコンサートを行うバラエティ会場、広場や路上で演奏が繰り広げられるストリート会場の3つのパターンでジャズを楽しむことができます。



の日にスターロード祭り、パールセンターでハロウィンをやっていた年もあって、阿佐ヶ谷大丈夫？というくらい盛り上がっていたね。

陽子：ローカルなんだけど、大きなポンサーがついているイベントとは違う手作りの良さがあるよね。来た人も飲み屋に行くとか楽器を持ってミュージシャンに会つたり、そういうのが面白いじゃないかな。最初はジャズストリートもそんなにうまくいかないんじゃないかなと言われたりして、うまくいって、うまいと祭りっていいもんだねという気持ちになつて、自分たちもイベントをやる気になつた。

【小田陽子】 大阪生まれ、東京育ち。小学校の3年間は南米チリで過ごす。高校・大学時代からギター弾き語り。1982年キングレコードよりデビュー。歌手、作詞作曲、ラジオDJ、司会、執筆など幅広く活動。

【小田智昭】 ドラム、コンガ奏者。1961年南米チリ生まれ。兵庫、東京育ち。慶大中退。米国LAの音楽専門学校M.I.卒業。ソウルジャズ、ラテン等幅広く活動。阿佐ヶ谷在住で、地元での演奏、夜の飲み屋街パトリオールに忙しい。

## 阿佐ヶ谷の情報満載!



詳しくはこちら



# ▲SAGAYA DEPARTMENT STORE 阿佐ヶ谷百貨店

まるごと楽しむ、阿佐ヶ谷。

阿佐ヶ谷百貨店は、阿佐ヶ谷ジャズストリート実行委員会が運営する「まるごと楽しむ、阿佐ヶ谷。」をコンセプトとした仮想の百貨店です。地域のお店とお客様をつなぐ街のポータルサイトとして、飲食店・物販店・サービス業・音楽・エンタメなど、阿佐ヶ谷の様々な業種のお店の情報が集まっています。

## なみじかない、杉並!

中央線あるある PROJECT

中央線あるあるPROJECTは「なみじかない、杉並!」を合言葉に、官民連携で杉並区内の中央線沿線(高円寺・阿佐ヶ谷・荻窪・西荻窪)の魅力を発信しています。詳しくはWEBサイトまたはFacebookページをご覧ください。

2024年3月発行(第2版)

